SONY®

3-196-849-**03** (1)

Bluetooth® *オーディオキット*

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN®

Bluetooth®

WLA-NWB1K

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く。**
3. **ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

⚠危険 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

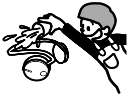
分解禁止

火のそばや炎天下などで充電したり放置しない

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

⚠警告　火災　感電

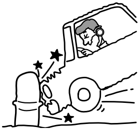
下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は本製品および携帯電話を使用しない。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しない。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではヘッドセットを使わないでください。

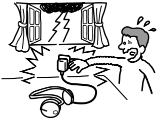
禁止



雷が鳴りだしたら、ACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

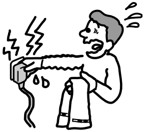
ぬれ手禁止



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

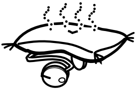
ぬれ手禁止



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

大音量で長時間続けて聞きすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。ヘッドセットにつないでいるBluetooth機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- このヘッドセットは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドセットで聞くときは、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

かゆみなど違和感があったら使わない

ヘッドセットが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

本製品を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本製品を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本製品は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告　充電式電池について

- 指定されたACパワーアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意　日本国内での充電式電池の廃棄について

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

Bluetooth機器について

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

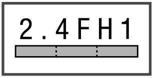
周波数について

本製品は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談センターまでお問い合わせください。お客様相談センターについては、本取扱説明書をご覧ください。



この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetoothとそのロゴマークは、 Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

こんなことができます

本製品は、Bluetooth® 無線技術を使用したBluetoothトランスミッターとBluetoothヘッドセットのオーディオキットです。
WM-PORT*1 (22ピン)搭載のウォークマンとトランスミッターを接続してオーディオ信号をヘッドセットへ伝送することでワイヤレスで音楽を楽しむことができます。
またヘッドセットは、ほかのBluetooth対応送信機(携帯電話、コンピュータなど*2)と組み合わせることで音楽を楽しむこともできます。

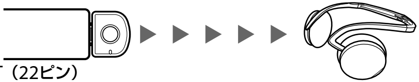
*1 WM-PORTは、ウォークマンとアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。

*2 Bluetooth送信機が、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応している必要があります。

本製品の特長は以下のとおりです。

- Bluetooth無線技術を利用し、トランスミッターでオーディオ信号をワイヤレスで送信、ヘッドセットで受信可能
- WM-PORT(22ピン)搭載のウォークマンに対応
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応
  - Bluetoothヘッドセットからウォークマンの基本操作(再生・停止など)が可能
  - ウォークマンのVOL(+/-)操作でBluetoothスピーカー *3などのボリューム操作が可能

  *3 AVRCP(Vol +/-)に対応している必要があります。
- トランスミッターは、ウォークマン本体からの電力供給により電源不要

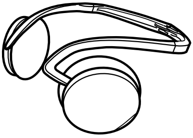


ヒント

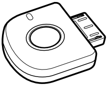
Bluetooth技術について詳しくは、☞32ページをご覧ください。
また、本製品と接続できる機器について詳しくは、下記をご覧ください。
ウォークマン カスタマーサポート (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)

本体と付属品を確認する

- Bluetoothヘッドセット



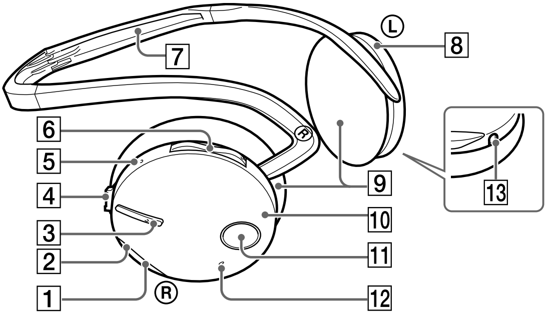
- Bluetooth トランスミッター



- ACパワーアダプター
- 取扱説明書
- 保証書

各部の名前とはたらき

Bluetoothヘッドセット



1 **ヘッドセットランプ(青)**
ヘッドセットの通信状態を表示します。

2 **ヘッドセットランプ(赤)**
ヘッドセットの電源状態を表示します。

3 **マルチファンクションボタン**
ヘッドセットをBluetooth対応携帯電話と組み合わせて使用して通話するとき、さまざまな機能を操作します。
凸点の部分を押してください。

4 **ジョグスイッチ**
ヘッドセットで音楽を聞くとき、さまざまな機能を操作します。

5 **RESET(リセット)ボタン**
ヘッドセットが動作しなくなったときに押します。ペアリング情報は保持されます。

6 **VOL(ボリューム)(音量)+*/–ボタン**

7 **ネックバンド**

8 **Ⓛ(左)ユニット**

9 **イヤーパッド**

10 **Ⓡ(右)ユニット**

11 **POWER(パワー)(電源)ボタン**

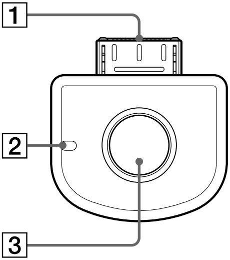
12 **マイク**

13 **DC IN 3 V(ディーシーイン)端子**

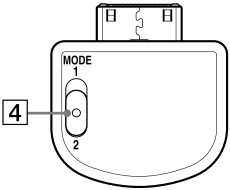
* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

Bluetoothトランスミッター

表面



裏面



1 $\overset{\text{ダブリューエムポート}}{\text{WM-PORT}}$（22ピン）

ウォークマンのWM-PORTにつなぎます（☞18ページ）。

2 トランスミッターランプ

トランスミッターの通信状態を表示します。

3 電源ボタン

以下の操作を行うときに使います。

- トランスミッターの電源の入/切をする（☞18ページ）
- ペアリングする（☞22ページ）
- トランスミッターを初期化する（☞38ページ）

4 $\overset{\text{モード}}{\text{MODE}}$スイッチ

通信モードを切り換えます。
1または2にスライドして切り換えます（☞20ページ）。

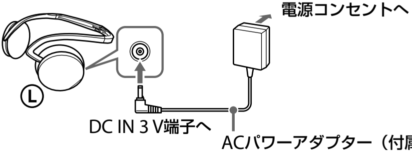
以下、“Bluetooth ヘッドセット” を “ヘッドセット”、“Bluetoothトランスミッター” を “トランスミッター” と略します。

ヘッドセットの基本的な使いかた

充電する

ヘッドセットはリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。充電してからお使いください。

1 付属のACパワーアダプターを、ヘッドセットのDC IN 3 V端子に接続する。

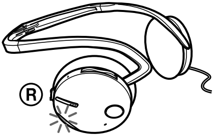


ACパワーアダプターを電源コンセントへ差し込むと、充電が始まります。

ヒント

ヘッドセットの電源が入っているときにACパワーアダプターを電源コンセントにつなぐと、ヘッドセットの電源は自動的に切れます。

2 ヘッドセットのランプ（赤）が、点灯していることを確認する。



充電は、約3時間*で完了し、ランプ（赤）は自動的に消灯します。

* 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

警告

ヘッドセットは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると、充電が完了していなくてもランプ（赤）が消灯することがあります。

– 動作保証温度範囲（0 ℃～40 ℃）を超える場合
– 充電式電池に問題がある場合
この場合、もう一度上記の温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、お近くのソニーご相談窓口にご相談ください。

ご注意

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お買い上げ店またはお近くのソニーご相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 付属のACパワーアダプターはヘッドセット専用です。他のACパワーアダプターは使用しないでください。

電池持続時間*

ヘッドセットの状態	使用可能時間
連続通信（音楽再生時間を含む）	最大11時間
連続待ち受け	最大100時間

* 周囲の温度や使用状態により、上記の接続時間と異なる場合があります。（上記は、ヘッドセットの電池持続時間です。）

充電式電池の残量を確認する

ヘッドセットの電源が入っているときにPOWERボタンを押すと、ヘッドセットランプ（赤）が点滅します。ヘッドセットランプ（赤）が点滅した回数で、充電式電池の残量を確認できます。

ヘッドセットランプ（赤）	電池残量
3 回点滅	満
2 回点滅	中
1 回点滅	減（要充電）

ご注意

ヘッドセットの電源を入れた直後やペアリングを行っているときは、充電式電池の残量を確認することができません。

残量がほとんどなくなると

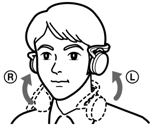
ヘッドセットランプ（赤）が自動的にゆっくり点滅します。充電式電池の残量が完全になくなると、ビープ音が鳴り、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

装着する

1 **ネックバンドを首にかける。**

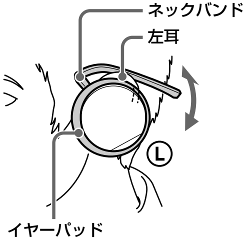
POWERボタンのあるほうがⓇ(右)ユニット(右耳用)です。

2 **ヘッドセットを耳より少し上まで持ち上げ、ネックバンドを耳にかけるようにして下ろしてイヤーパッドを耳にあてる。**



3 **耳にぴったり合うように、ネックバンドの角度を調整する。**

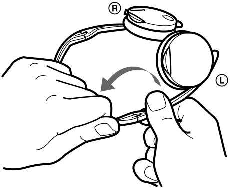
イヤーパッドの位置も合わせて調整してください。



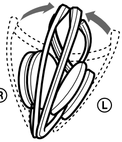
たたむ

1 図のように折り曲げる部分の近くを両手で持ち、左ユニットを持ち上げるように折り曲げる。

右ユニットも同様に折り曲げてください。

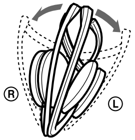


2 折り曲げた左右のネックバンドを閉じる。

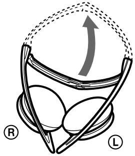


広げる

1 図のようにネックバンドの左右を開く。

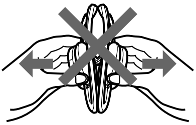


2 残り半分のネックバンドを上げて広げる。



ご注意

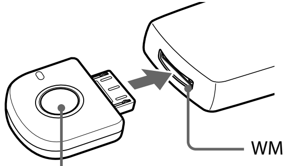
- 下図のように両側にひっぱって広げないでください。



- 目や顔などに、ネックバンドの先端部がぶつからないようにご注意ください。

ウォークマンと接続する

トランスミッターをウォークマンのWM-PORTにしっかりと接続してください。



トランスミッターの電源を入れるには

トランスミッターをウォークマンに接続するとトランスミッターの電源が自動的に入ります。ウォークマンに接続している状態でトランスミッターの電源が切れている場合、トランスミッターの電源ボタンを約2秒間押し続けると、電源が入ります。
トランスミッターの電源が入ると、トランスミッターランプが2回点滅します。

トランスミッターの電源を切るには

トランスミッターの電源ボタンを約2秒間押し続けると、トランスミッターランプが1回点滅して、トランスミッターの電源が切れます。

ヒント

連続通信時間や連続待ち受け時間はお使いのウォークマンによって異なります。
詳しくは、ウォークマン カスタマーサポート（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）をご覧ください。

ご注意

- ウォークマンのヘッドホンジャックから音声を聞くときは、トランスミッターをウォークマンから取りはずしてください。
- トランスミッターの電源が入っているとウォークマンの電池を消費します。Bluetooth機能を使わないときは、トランスミッターの電源を切ることをおすすめします。
- ウォークマンが再生中のときにトランスミッターの電源を切ると、再生が止まります。
- トランスミッターは充電の必要がなく、接続したウォークマンから電力の供給を受け動作します。ウォークマンの電池残量を確認してご利用になることをおすすめします。
- ご使用のウォークマンの機種により、トランスミッターをウォークマンに接続しているときにはヘッドホンを接続できないことがあります。

ウォークマンの音楽を聞く

ウォークマンで再生した音楽をヘッドセットで聞くことができます。

1 ヘッドセットのPOWERボタンを約3秒間押し続ける。

ヘッドセットのランプ（青）とランプ（赤）が同時に2回点滅し、ヘッドセットの電源がはいります。

2 トランスミッターをウォークマンに接続し、ウォークマンの電源を入れる。

トランスミッターのランプが以下のように変わり、自動的にBluetooth接続されます。

ランプが2回点滅：電源が入る

↓

ランプが点滅（約1秒間隔）：接続処理中

↓

ランプが2回点滅：接続成功時

↓

ランプがゆっくり点滅（約5秒間隔）：接続中

ウォークマンと接続してから約5分以内にBluetooth接続できなかった場合は、自動的に電源が切れます。電源が切れてしまった場合は、再度電源を入れてください。

ご注意

最近接続した2つの機器以前にペアリング済みの機器と接続する場合は、本機の電源を入れ、ランプがゆっくりと10回点滅してから13回目までの間（点滅開始後約10 ～ 13秒の間）に、相手のBluetooth機器から接続操作を行ってください。
それでもBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングを行ってください。

次のページにつづく

3 ウォークマンで音楽の再生を始める。

ウォークマンで再生している音楽がヘッドセットから聞こえます。

ヒント

音量は、ヘッドセットで調整できます。また、再生中の音楽を早送り、早戻しなどができます（☞21ページ）。

ご注意

- お使いのウォークマンによっては、ウォークマンが再生待機状態のときには、再生ボタンを押し続けないと再生が始まらない場合があります。
- ウォークマンで音量の調整をしても、ヘッドセットから出力される音声には影響しません。ただし、同梱のヘッドセット以外のAVRCP(VOL ±)に対応したBluetooth受信機に接続した場合は、受信機の音量調整が可能です。
- Bluetooth接続しているときは、ウォークマンで設定したAVLS（Automatic Volume Limiter System）は無効になり、ビープ音も出ません。
- トランスミッターとヘッドセットの距離が離れてBluetooth接続が切れた場合は、もう一度手順**1**から操作してください。ただし、約10分以内に接続可能な距離に戻ると、自動的に接続し直します。
- FMチューナー搭載のウォークマンで受信したFM放送をヘッドセットで聞くときは、必ずヘッドホンをウォークマンに接続してください。ヘッドホンコードがアンテナとして働くため、接続していないと放送が受信できません。
- ウォークマン内の楽曲の音声レベルが大きいと、ヘッドセットから出力される音声は、「Equalizer」などの音質効果が小さくなくなります。
- Bluetooth接続を使った再生では、ご使用方法や場所により、雑音が入ったり、音が途切れたり、再生速度が変わったりすることがあります（詳しくは☞32ページをご覧ください）。

トランスミッターのMODEスイッチについて

音質とワイヤレス通信の安定のどちらを優先するか選べます。
モード1：音質を優先する。
モード2：ワイヤレス通信の安定を優先。

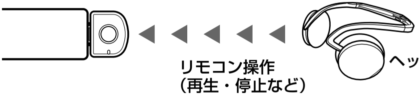
ご注意

- モード1に設定したときに、音とびなどが発生した場合はモード2に切り換えてください。
- お使いのBluetooth受信機によっては、モード1/2に切り換えるとき、音が途切れることがあります。

ウォークマンをヘッドセットで操作する

ヘッドセットの操作ボタンでウォークマンをリモコン操作をすることができます。

リモコン操作を始める前に、「ウォークマンの音楽を聞く」の手順1と2が完了していることをご確認ください(☞19ページ)。



ウォークマンの状態を操作する

►■ボタンを押すと再生を開始したり停止したりすることができます。

音楽を操作する

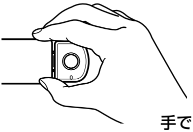
⏮/⏭ボタンを押すごとに、ウォークマンの音楽を1曲ずつ戻す/送ることができます。また、⏮/⏭ボタンを押し続けるとウォークマンの曲を早戻し/早送りすることができます。

ヒント

ウォークマンの電源が切れると接続待ち状態になります。接続待ち状態のときは、ヘッドセットを操作してウォークマンの電源を入れることができます。

ご注意

- ウォークマンの状態によりリモコン操作ができないことがあります。
- ウォークマンで音量調整をしても、ヘッドセットの音量は変わりません。
- ウォークマンの操作をするときは、トランスミッターを手でおおい隠したりしないでください。



ほかのBluetooth機器とペアリングする

ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、ワイヤレス接続する機器同士を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき。
- 9台以上の受信機をペアリングしたとき。
  本製品はそれぞれ合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本製品を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が削除されます（☞38ページ）。

トランスミッターとほかのBluetooth受信機をペアリングする

1 **トランスミッターとウォークマンを接続する(☞18ページ)。**
トランスミッターの電源が入ります。

2 **トランスミッターの電源ボタンを約2秒間押し続けて電源を切る。**

3 **ペアリングするほかのBluetooth受信機を1m以内に置く。**

4 **Bluetooth受信機をペアリング状態にする。**
（Bluetooth受信機の取扱説明書をご覧ください。）

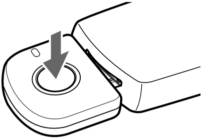
ご注意

トランスミッターのパスコード* は「0000」に固定されています。お使いのBluetooth受信機にはパスコードの入力を求めるものがあります。その場合は、「0000」と入力してください。パスコードが「0000」でないBluetooth受信機とペアリングすることはできません。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 トランスミッターの電源ボタンを約7秒間以上押し続けてペアリング状態にする。

約2秒後にランプが2回点滅しますが、ボタンを離さないでください。



トランスミッターのランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。
トランスミッターがペアリング状態になります。
トランスミッターのランプが以下のように変わり、Bluetooth受信機とペアリングされます。

ランプが速く点滅：ペアリング中
↓
ランプがBluetooth受信機に応答して点滅（ペアリング成功）
↓
ランプが点滅（約5秒間隔）：接続待ち

ご注意

- トランスミッターのペアリング状態は、約5分で解除されます。約5分以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度手順**4**から操作を行ってください。
- ペアリング状態にするには、最初にトランスミッターの電源を切ってください。

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順**2**から行ってください。

ペアリングを途中で止めるには

電源ボタンを約2秒間押し続けて、トランスミッターの電源を切ってください。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**2**～**5**を繰り返してください。

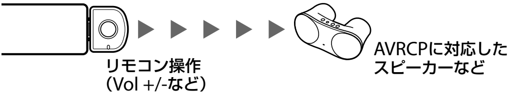
次のページにつづく

ご注意

- Bluetooth受信機によっては、接続待ち状態に自動的にならないものがあります。その場合は、お使いになる機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、 Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。

ほかのBluetooth受信機をウォークマンで操作する

ウォークマンの操作ボタンでBluetooth受信機をリモコン操作することができます。



ご注意

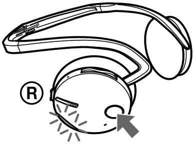
- ウォークマンからBluetooth受信機をリモコン操作するときは、トランスミッターをBluetooth受信機へ向けてください。
- お使いのBluetooth受信機によっては、ウォークマンからのリモコン操作による音量調整ができないことがあります。

ヘッドセットとほかのBluetooth送信機をペアリングする

1 ペアリングするほかのBluetooth送信機を1m以内に置く。

2 ヘッドセットの電源が切れている状態で、POWERボタンを7秒以上押し続ける。

約3秒後にランプ(赤)とランプ(青)が2回点滅しますが、ボタンを離さないでください。



ランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。ヘッドセットがペアリング待機状態になります。

3 Bluetooth送信機をペアリング状態にする。

(Bluetooth送信機の取扱説明書をご覧ください。)
Bluetooth送信機側の画面に、「DR-BT21G」と表示されます。
ペアリング処理にしたがって、ヘッドセットのランプが以下のように変わり、Bluetooth送信機とペアリングされます。

ランプが速く点滅：ペアリング中
↓
ランプがBluetooth送信機に応答して点滅(ペアリング成功)
↓
ランプが点滅(約5秒間隔)：接続待ち

ご注意

ヘッドセットのパスコード* は「0000」に固定されています。お使いのBluetooth送信機にはパスコードの入力を求めるものがあります。その場合は、「0000」と入力してください。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

次のページにつづく

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順**2**から行ってください。

ペアリングを途中で止めるには

POWERボタンを約2秒間押し続けて、ヘッドセットの電源を切ってください。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順を繰り返してください。

ご注意

Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。
ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。

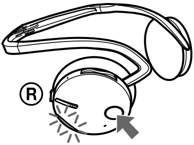
トランスミッターとヘッドセットを再ペアリングする

1 **トランスミッターとウォークマンを接続する(☞18ページ)。**
トランスミッターの電源が入ります。

2 **トランスミッターの電源ボタンを約2秒間押し続けて電源を切る。**

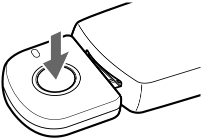
3 **ヘッドセットとトランスミッターを1m以内に置く。**

4 **ヘッドセットの電源が切れている状態で、POWERボタンを7秒以上押し続ける。**
約3秒後にランプ(赤)とランプ(青)が2回点滅しますが、ボタンを離さないでください。



ランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。ヘッドセットがペアリング待機状態になります。

5 **トランスミッターの電源ボタンを約7秒間以上押し続けてペアリング状態にする。**
約2秒後にランプが2回点滅しますが、ボタンを離さないでください。



ランプが速く点滅し始めたらボタンを離してください。自動的にヘッドセットとペアリングされます。

ご注意

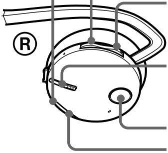
- ペアリング状態は、約5分で解除されます。約5分以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度はじめから操作を行ってください。
- ペアリング状態にするには、最初にトランスミッターの電源を切ってください。

ヘッドセットで通話する

通話できる状態にする（Bluetooth接続）

機器の操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

– 携帯電話のBluetooth機能が有効になっている。
– ヘッドセットとBluetooth対応携帯電話のペアリングが完了している。



1　ヘッドセットの電源が切れている状態で、POWERボタンを約3秒間押し続ける。

ヘッドセットランプ（青）とヘッドセットランプ（赤）が同時に2回点滅し、電源が入ります。電源が入ると、前回接続したBluetooth対応携帯電話へ自動的にBluetooth接続します。

ご注意

POWERボタンを7秒以上押し続けると、ヘッドセットがペアリング状態になります。

ヒント

自動接続を試みて1分間を過ぎると、Bluetooth接続動作が止まります。その場合は、マルチファンクションボタンを押すと、再度Bluetooth接続を試みます。

音量を調節するには

VOL + / –ボタンを押します。

ヒント

- 通話待ち受け中に音量を調節することはできません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量レベルと音楽を聞くときの音量レベルを、それぞれ記憶することができます。

電話を受けるには

ヘッドセットと携帯電話が通話できる状態になっていれば、着信があるとヘッドセットから着信音が聞こえます。

1 マルチファンクションボタンを押して、電話を受ける。

ヘッドセットから聞こえる着信音は、携帯電話によって以下のように異なります。

– ヘッドセットの着信音
– 携帯電話の着信音
– 携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

ご注意

携帯電話のボタンを押して電話を受けた場合、機種によっては、携帯電話での通話が優先されることがあります。この場合、ヘッドセットのマルチファンクションボタンを約2秒間押し続けるか、携帯電話を操作して、音声通信をヘッドセットに切り換えてください。携帯電話側での操作について詳しくは、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。

電話をかけるには

1 お使いの携帯電話のボタンを操作して電話をかける。

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、マルチファンクションボタンを約2秒間押し続けます。

ヒント

携帯電話の機種によっては、下記のような方法で電話をかけることができます。詳しくは、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。

– 通話待ち受け中に、マルチファンクションボタンを押してボイスダイヤル機能を使って電話をかけることができます。
– マルチファンクションボタンを約2秒間押し続けて、直前の番号へ電話をかけ直すことができます。

電話を切るには

マルチファンクションボタンを押して、通話を終了します。

ヘッドセットを使って、Bluetooth対応携帯電話を操作する（HFP、HSP）

ヘッドセットと携帯電話とのBluetooth接続は、HFPまたはHSPのどちらかが使用されます。どちらの形式が使われるかは、携帯電話によって異なり、対応する機能も異なります。

以下の表は、代表的な携帯電話での効果です。携帯電話の機能については、携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。

HFP

携帯電話の状態	マルチファンクションボタンの動作	
	短く押す	長く押す
待ち受け中	ボイスダイヤルの開始	リダイヤル開始
ボイスダイヤル中	ボイスダイヤルの解除	―
発信中	発信中断	―
着信中	着信応答	着信拒否
通話中	通話終了	Bluetooth接続する機器の切り換え

HSP

携帯電話の状態	マルチファンクションボタンの動作	
	短く押す	長く押す
待ち受け中	―	発信[*1]
発信中	発信中断[*1]	発信中断またはBluetooth接続する機器の切り換え[*2]
着信中	着信応答	―
通話中	通話終了[*3]	Bluetooth接続する機器の切り換え

[*1] 携帯電話の機種によっては、操作に対応していない場合があります。

[*2] 携帯電話の機種によって異なります。

[*3] 携帯電話本体で通話しているときは、操作に対応しない場合があります。

音楽再生中に通話をする

音楽再生中に通話をするには、A2DPだけではなくHFPまたはHSPでのBluetooth接続も必要です。例えば、ウォークマンで音楽を再生中にBluetooth対応携帯電話で通話をしたいときは、ヘッドセットとお使いの携帯電話がHFPまたはHSPでBluetooth接続されている必要があります。

通話できる状態にする（Bluetooth接続）

1 「ヘッドセットで通話する」(☞28ページ)の手順にしたがって、ヘッドセットとお使いの携帯電話をBluetooth接続する。

2 トランスミッターとヘッドセットをBluetooth接続する(☞19ページ)。

電話をかける

1 音楽の再生中に、マルチファンクションボタンを操作する（☞30ページ）。または、お使いの携帯電話を操作する。

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、マルチファンクションボタンを約2秒間押し続けます。

電話を受ける

着信があると音楽が一時停止し、ヘッドセットから着信音が聞こえます。

1 マルチファンクションボタンを押して、通話を開始する。

通話が終了したら、マルチファンクションボタンを押します。ヘッドセットが音楽再生に戻ります。

着信があってもヘッドセットから着信音が聞こえないときは

1 再生中の音楽を停止する。

2 着信音が鳴ったら、マルチファンクションボタンを押して、通話を開始する。

Bluetooth技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。約10 m程度までの距離で通信を行うことができます。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本製品は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン：
Bluetooth標準規格Ver. 2.0準拠

対応Bluetoothプロファイル：

- トランスミッターとヘッドセットの両方に対応しているプロファイル
  A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）
- ヘッドセットのみに対応しているプロファイル
  HFP (Hands-free Profile)
  HSP (Headset Profile)

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術では約10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。

- Bluetooth通信は以下の状況において、雑音が入ったり、音が途切れたり、再生速度が変わったりすることがあります。
  – 金属製のかばんの中で使う場合

- リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
- 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本製品とBluetooth機器をできるだけ近づける。
  - 約10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、ヘッドセット側での再生がわずかに遅れます。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetooth機能対応機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

取り扱いについて

- 本製品を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
- ほこりの多い所
- ぐらついた台の上や傾いた所
- 振動の多い所
- 風呂場など、湿気の多い所
- 車内など直射日光の当たる場所

車内で使用する場合のご注意

本製品、オーディオ出力機器やカーラジオの接続作業および機器操作は、運転中や停車中ではなく安全な場所に駐車してから行ってください。

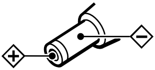
お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

次のページにつづく

付属のACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  - ACパワーアダプターを棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  - 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。
- 長い間使わないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずACパワーアダプター本体をつかんで抜いてください。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- ヘッドセットを折りたたむときは、指などを挟まないようにご注意ください。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- このヘッドセットは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。
- イヤーパッドは消耗品です。長期の使用・保存によって劣化することがあります。破損したら交換してください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

イヤーパッドを交換する場合は、別売りのスペアーイヤーパッドEP-G1をお買い求めください。

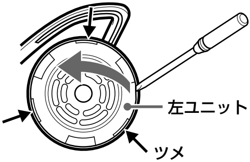
他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

ヘッドセットを廃棄する

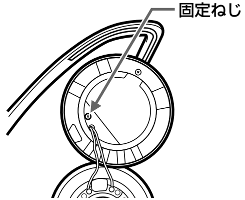
ヘッドセットはリチウムイオン充電式電池を左ユニットに内蔵しています。環境保全のために、ヘッドセットを廃棄する際は、充電式電池を取りはずし適切に廃棄してください。

1 左ユニットのイヤーパッドを取りはずしてから、左ユニットを取りはずす。

ユニットはツメ（3か所）で固定されています。図のようにマイナスドライバーなどを隙間に差し込み、ユニットを持ち上げるようにして取りはずします。



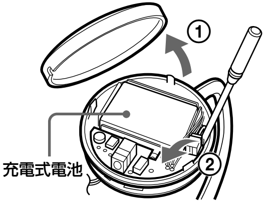
2 外側のカバーを固定しているねじを取りはずす。



3 外側のカバーを開き、中の基板を取りはずす。

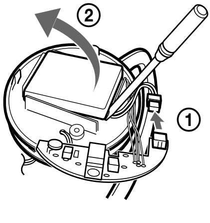
①外側のカバーはツメ（3か所）で固定されています。マイナスドライバーなどを隙間に差し込み、カバーをはずします。

②基板はツメで固定されています。図のようにコネクタ部分にある隙間へマイナスドライバーなどを差し込み、基板を持ち上げるように取りはずします。



4 コネクタを引き抜き、充電式電池を取りはずす。

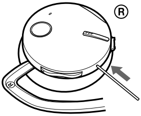
充電式電池は、粘着テープで固定されています。マイナスドライバーなどを差し込み、充電式電池を持ち上げるように取りはずします。



故障かな？と思ったら

本製品を操作していてトラブルが発生したら、サービス窓口にご相談になる前にトランスミッターをウォークマンから取りはずし、しばらくしてから接続してください（トランスミッターのリセット）。ヘッドセットのリセットも行ってください（リセット操作方法は、「ヘッドセットを操作できない」の「原因と対応のしかた」をご覧ください）。それから、「故障かな？と思ったら」の各項目で調べてください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因と対応のしかた
トランスミッターの電源が入らない（入ってもすぐ切れる）	➔ トランスミッターの電源ボタンを約2秒間押し続ける。 ➔ ウォークマンの電池残量を確認してください。残量が無い場合、ウォークマンを充電してください。
ヘッドセットの電源が入らない	➔ 充電してください。 ➔ 充電中は電源を入れることができません。ヘッドセットをACパワーアダプターからはずし、電源を入れてください。
音が出ない	➔ トランスミッターとウォークマンが正しく接続されているか確認してください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットの電源が入っているか確認してください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットの距離が離れすぎていないか、無線LANやほかの2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットを再度ペアリングしてください（☞27ページ）。 ➔ ウォークマンで、音楽が再生されているか確認してください。 ➔ ヘッドセットの音量が小さすぎないか確認してください。
音が小さい	➔ ヘッドセットの音量を、音がひずまない範囲でできる限り大きくしてください。
音量が変わらない	➔ ヘッドセットの音量を調節してください。
音がひずむ	➔ ヘッドセットの音量を音がひずまなくなるまで下げてください。 ➔ 本製品の周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。

症状	原因と対応のしかた
音が途切れたり、雑音が入ったり、再生速度が変わったりする（通信距離が短い）	➔ トランスミッターのMODEスイッチをモード2に切り換える。 ➔ 無線LANやほかのBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットの間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットをできるだけ近づけてください。 ➔ トランスミッターとヘッドセットの位置や向きを変えてください。
ヘッドセットを操作できない	➔ ヘッドセットをリセットしてください（この操作をしても、ペアリング情報は削除されません）。クリップなどの細い棒を穴へ斜め方向に差し込み、ボタンの感触があるまで押してください。 
ペアリングできない	➔ 本製品とBluetooth機器をできるだけ近づけてください。 ➔ トランスミッターの正しいパスコードが入力されているか確認してください（☞22ページ）。 ➔ ヘッドセットの正しいパスコードが入力されているか確認してください（☞25ページ）。
ペアリングした機器や以前接続できた機器に接続できない	➔ 本機は最近接続した2つの機器へ接続を試みます。 最近接続した2つの機器以前にペアリング済みの機器と接続する場合は、本機の電源を入れ、ランプがゆっくりと10回点滅してから13回目までの間（点滅開始後約10 ～ 13秒の間）に、相手のBluetooth機器から接続操作を行ってください。 それでもBluetooth接続できない場合は、もう一度ペアリングしてください。 ➔ ペアリング情報が削除された可能性があります。もう一度ペアリングしてください。
Bluetooth接続ができない	➔ 本製品の電源が入っているか確認してください。 ➔ Bluetooth接続が切断されている可能性があります。もう一度Bluetooth接続を開始してください。
ヘッドセットとBluetooth対応携帯電話をBluetooth接続できない	➔ ヘッドセットのマルチファンクションボタンを押す。（ヘッドセットで音楽を聞いているときはBluetooth接続できません。） ➔ Bluetooth対応携帯電話でBluetooth接続操作を行う。 （Bluetooth対応携帯電話の操作については、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。）

初期化する

トランスミッターを初期化する

トランスミッターを工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 **電源ボタンを押しながらウォークマンに接続する。**

2 **そのまま電源ボタンを約15秒以上押し続ける。**
ランプが4回点滅し、トランスミッターが工場出荷時の設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

ヘッドセットを初期化する

ヘッドセットの音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 **ヘッドセットの電源が入っている状態で、POWERボタンを3秒以上押し続けて電源を切る。**

2 **POWERボタンとマルチファンクションボタンを同時に7秒以上押し続ける。**
ランプ（青）とランプ（赤）が同時に4回点滅し、ヘッドセットが工場出荷時の設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて交換させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBluetoothオーディオトランスミッターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

トランスミッター &ヘッドセット

通信方式
Bluetooth標準規格Ver. 2.0
出力
Bluetooth標準規格Power Class 2
最大通信距離
見通し距離約10 m*1
使用周波数帯域
2.4 GHz 帯
（2.4000 GHz – 2.4835 GHz）
変調方式
FHSS
伝送帯域（A2DP）
20 – 20,000 Hz （44.1 kHzサンプリング時）

トランスミッター

概要

対応Bluetoothプロファイル*2
A2DP
（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP
（Audio/Video Remote Control Profile）
対応コーデック*3
SBC*4
入出力端子
WM-PORT（22ピン）
最大外形寸法
約 28.1 × 29.1 × 7.8 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起物を含む）
質量
約5 g

ヘッドセット

概要

対応Bluetoothプロファイル*2
A2DP
（Advanced Audio Distribution Profile）
AVRCP
（Audio / Video Remote Control Profile）、
HFP（Hands-free Profile）、
HSP（Headset Profile）
対応コーデック*3
SBC*4、MP3
電源
DC 3.7 V：内蔵リチウムイオン充電式電池
質量
約63 g

レシーバー部

形式
オープンエアダイナミック型
ドライバーユニット
30 mm、ドーム型
再生周波数帯域
14 - 24,000 Hz

マイク部

全指向性、エレクトレットコンデンサー型
有効周波数帯域
100 – 4,000 Hz

付属品

ACパワーアダプター（1）
取扱説明書（本書)（1）
保証書（1）

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*3 音声圧縮変換方式のこと
*4 Subband Codecの略

本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

“ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本製品についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポート**
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口**
  (下記電話・FAX番号)
  本製品の商品カテゴリーは、[ウォークマン]－[ウォークマンAシリーズ、Eシリーズ、Sシリーズ]です。
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  － 型名:WLA-NWB1K
  － ご相談内容:できるだけ詳しく
  － お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「301」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

3196849O3 (1)